

本日、令和 7 年 9 月石垣市議会定例会の開会にあたり、今後の市政の推進について、私の所信を申し述べます。

まず始めに、令和 6 年度国民健康保険事業特別会計に係る公文書の不適正な取扱いに端を発した私の不信任案可決に伴い、市民の皆様に多大なるご心配、ご迷惑をお掛けしましたことを、心からお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。本件に関しましては、去る 9 月 3 日付けで担当職員に対する懲戒処分及び決裁に関わった管理監督者への嚴重注意処分を行いました。また、私及び副市長につきましても最終責任者として相応な処分対応をさせていただきます。公文書の取扱いには、今後、より一層の注意を払い、適切な事務処理を徹底してまいります。

8 月 17 日に行われました市長選挙において、市民の皆様の負託を受け、第 22 代石垣市長として再び石垣市の市政を担うことになりました。これからの 4 年間も「日本一幸せあふれるまち石垣市」をキャッチフレーズに、「島を守る」「人を守る」の思いのもと、全職員とともに、これまでの流れを止めず、より前進していけるように全身全霊で職務に取り組んでまいります。

この度の選挙戦におきましては、市民の皆様へ数々の公約を掲げさせていただきました。まず、目先の課題として早急に取り組まなければならないのが、物価高対策です。前任期中にもお米クーポンの配布などを行ってまいりましたが、新たに水道料金の減免や指定ごみ袋の無償配布などを一定期間行い、生活コストの軽減に取り組んでまいります。

市民から期待の声が大きい台湾との定期航路の開設については、これま

での計画通り、着実に進めてまいります。石垣島から 270Km の距離にある台湾から生活物資を輸入することにより、市民生活における価格低減効果が期待されます。また、低価格な各種資材の購入により、企業のコスト低減が図られ、収益率の向上が見込まれます。更には、石垣プラス台湾という新たな観光ルートの創設により、石垣島への国内観光客の需要増加も期待できます。

長年取り組んできたゴルフ場付きリゾート施設の整備は、市民の健康増進や次世代の人材育成に繋がるだけでなく、観光コンテンツが一つ増えることになり、本市のリーディング産業である観光分野においても、非常に大きな効果があるものと認識しています。本市は「日本最南端の自然文化都市」を掲げており、観光の質を高めるとともに、法令に沿った形でカンムリワシ等の貴重な動植物の保全に努め、自然環境に配慮した開発がなされるよう、事業者と連携を図ってまいります。

本市出身の人間国宝の方々の染織作品など、一流の作品に出合うことは、市民の文化芸術に対する関心を高めます。また、それらの作品を国内外の観光客に見てもらうことは、本市の文化的価値の向上に繋がることから、島の感性と文化を世界へ発信する「八重山美術博物館」の建設を推進してまいります。

さらに安心して子供を産み、育てられる環境を整えるため、無料で妊婦検診を受けられる回数を増やすほか、ミルクやおむつ等のベビー用品の購入支援も実施してまいります。

農業、畜産、漁業などの第一次産業を稼げる産業にします。新製糖工場

の建設を進め、サトウキビの増産を後押しするほか、石垣島産和牛の牛肉を台湾に輸出できるよう、八重山食肉センターのH A C C P（ハサップ）取得を推進してまいります。また、漁業者への燃料費補助を継続するとともに、八重山漁協のセリ場の改築や、もずくタンクの増設等、生産・販売体制の強化を図ってまいります。

国境離島の石垣島として、国際社会へ平和の発信を行ってまいります。近隣諸国と近距離にある石垣島に、長射程距離ミサイルは必要ありません。一方、自然災害や有事から市民の命と暮らしを守るための備えは必要です。地域防災力を高める教育を充実させるとともに、国や沖縄県と連携し、より実効性の高い住民避難計画の策定を急ぎます。また、特定臨時避難施設の整備も進めてまいります。

結びに、市長には「島を守る」「人を守る」責務があります。市民の皆様の幸せを追求し、さらに島を豊かにする責務があります。私は、これまでの15年間の経験も最大限に生かしながら、職務に邁進してまいります。石垣市の未来のため、そして子どもたちのため、「日本一幸せあふれるまち石垣市」を作り上げていきますので、議員各位並びに市民の皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年9月8日

石垣市長 中山義隆